

就労支援事業所 フ・クレール（就労移行支援・就労継続支援B型）

障がいのある人たちが普通の社会生活が営むことが出来るように、通所による就労支援の提供と工賃の向上に努めます。また地域社会との結びつきを重視し、他の関係機関と連携し一般就労と社会参加に努めています。

生産活動について

【自主生産作業 パン・クッキー】

自主生産活動として、パン・クッキー作業を行っており自主生産作業を通じ、イベント販売の参加・地域での販売促進等積極的に活動し事業展開を行っております。

パン・クッキーの種類は共に約 80 種類のメニューがあり、お客様のご要望・ご注文に応じ対応しております。また、作業場の他にも店舗での販売も展開しており、地域の皆様に寄り添った店舗販売展開も心がけております。



【委託作業】

委託作業については、業者の方からの内職を請け負い、生産活動を支援しております。請負業者数は計 5 業者です。景気に左右される面も時としてはあり、利用者様に仕事の提供が難しくなる時期もあります。今現在は内職を通じた利用者様の賃金の向上を目的とした生産活動内容の拡大を検討しております。



【サービス支援内容について】

就労移行支援 … 一般就労に向けた利用者支援・取組みを実施しており、障害者就労関係機関と連携をとりながら、企業見学・体験実習を通し、一般就労に向けた支援を行っています。

利用者定員は6名で、昨年度の一般就労の移行実績は2名となっております。

就労継続支援B型 … 定員は14名の方が利用されており、パン・クッキー作業と委託作業を利用者様の希望・能力に応じて、各部署にて支援を行っております。また、工賃についても能力や利用日数に応じて支給しており、平均賃金は約17,000円(R2.10月現在)となっており、賃金向上の為に今後も生産数や販売事業を展開出来る様、創意工夫をしながら行っております。

また、近郊の工場にて「施設外支援」として利用者様1名・職員1名出向しており、企業の厳しさや社会性を養う為に実際に社員の方々と打ち合わせを行いながら作業を行っております。

今後共、利用者様・取引業者様・地域の方々等のニーズに応じながら事業展開を行ってまいりますので、パン・クッキーの注文・内職の提供等、ぜひご検討していただく様、よろしくお願い致します。

社会福祉法人光道園 フ・クレール
丹生郡越前町朝日 1-504
Tel: (0778) 34-8801 担当: 津田真一

光が丘 ワークセンター

<施設概要>

- ・生活介護事業所
- ・入居者50名 通所者9名
- ・作業時間
平日 午前9：00～12：00
午後14：00～16：30
休日 休み

<光が丘ワークセンターの生産活動について>

・主な作業内容

各種材料の袋詰め

金具製品のネジはめ

プラスチック関係の製品バリ取り

一定の長さに合わせた紐切り

カーテンの留め具の組み立て

ボール盤を使ったカット作業 等

※職員による検品、梱包をして納品しています。

・生産活動への意気込み

光が丘ワークセンターは昭和56年に開所されました。その当時から、現在まで生産活動に取り組まれてきた方がたくさんいらっしゃいます。平均年齢は64歳と高齢ですが「出来る限り仕事を続けていきたい」という思いを持って取り組まれています。仕事に対する利用者の思いを胸に、職員と共に生産活動に取り組んでいる事業所です。

ホープセンター2階 あさぎ館 作業

ホープセンターあさぎ館の特徴

光道園ライトホープセンターあさぎ館に入所されている利用者さんの約8～9割は視覚障害者（弱視、全盲）になります。また、精神、知的、発達障害がある方もいます。

障害があっても仕事ができるように職員が自助具を作り平日の10時～11時まで作業を行っています。基本土日、祭日祝日、お盆、年末年始はお休みとなっていますが、納期や作業日数の関係でそれ以外の日にも作業を行う場合もあります。

現在作業従事者数は60名ほどになります。

また、ホープセンター2階では平日の1時間ほどではありますが、作業訓練という時間も設けています。作業担当職員が付き添いの元、依頼作業の訓練を行っています。

学校を卒業してすぐに入所された方、20代～40代の若い方、作業意欲のある方、依頼作業参加希望があった方を中心に行っています。

作業場



作業時間 平日10時～11時（1時間 祭日祝日、お盆、年末年始は休み）
平日15時～16時（水曜のみ） 平日16時～17時（水曜以外）

作業内容 ①キッチン整理ラベル貼り、包装
②ダンボール台紙のテープ貼り、ハッポー貼り
③ダンボール折り
④花台磨き
⑤ネジ締め

①

1⇒全盲の方が多いため汚れ、傷、上下向き、ゆがみが分からないので職員で検品行っています。

2⇒セロテープを丸め、ラベル貼りは利用者さんでもらっています。木の台が自助具になります。上下左右分かるようにも印を付けています。

3⇒包装し納品ダンボールに詰める作業は職員、利用者さんで行っています。

②

自助具を使用しテープ貼り⇒ハッポー貼りを行っています。

テープの位置が分かるように印をつけています。

最終検品、納品準備は職員が行っています。

③

折りに関しては訓練時に職員が折り方を教えています。

最終検品、納品準備は職員が行っています。

上記の2つは、①②③が難しい方、訓練途中、支援内容、体力、障害関係で難しい方が主に行っています。

ネジ締めに関しては今年度から取りいれてみました。長年花台磨きをしていた関係もあり、出来る方、出来ない方がいますが、こちらも利用者さんに寄り添い、少しずつ練習もしています。

ホープセンターもえぎ館

光道園ライトホープセンターもえぎ館に入所されている利用者さんの約5割は視覚障害者（弱視、全盲）になります。また、精神、知的、発達障害がある方もいますが、あさぎ館と大きな違いは7～8割が身体障害がある方になります。（歩行が不安定で手引き、誘導が必要。車椅子を使用している。）

作業時間は平日の14時～15時まで作業を行っています。基本土日、祭日祝日、お盆、年末年始はお休みとなっていますが、納期や作業日数の関係でそれ以外の日にも作業を行う場合もあります。もえぎ館での支援内容や利用者さんの体力等のさまざまな理由により1時間となっています。

現在作業従事者数は30名弱になります。また上記に書いてあるように、作業に従事している方の半分は全盲で麻痺がある方となります。

現在行なっている作業が下記の3つになります

- 1 キッチン整理ラベル貼り
- 2 花台磨き
- 3 冷却容器に敷く断熱材の消毒

1 2はあさぎ館と同じ作業を行っています。

- 3 2組に分かれ
1組・・・消毒液を吹きかけて拭き2組目に渡し
2組・・・1組目からもらった製品を乾拭き

キッチン整理も消毒作業も、1次検品・最終検品は職員で行っています。